

つくば市入札監視委員会
令和8年度第1回定例会議 審議概要

開催日時 及び場所	令和8年(2026年)8月5日(水) 13:30～16:00	
	つくば市役所 コミュニティ棟1階会議室3	
出席委員	委員長 田中 雅子(大学准教授) 大和田 幹夫(元地方公務員) 下司 優里(大学准教授) 高畠 由美子(税理士) 増田 せつ子(行政書士) 山口 達也(国家公務員) (敬称略)	
審議対象期間	令和7年(2025年)10月1日 ～ 令和8年(2026年)3月31日	
審議案件総数	6件	
建設工事	3件	(一般競争:2件、随意契約:1件)
測量・建設コンサルタント	1件	(一般競争:1件)
業務・物品等調達	2件	(一般競争:1件、指名競争1件)
委員からの 質問・意見、 それに対する 回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 建議の内容	別紙のとおり	
その他	次回会議は令和9年1月又は2月に開催予定。	

【事案1】 7市単特環改第53号西高野流量計更新工事

《 条件付き一般競争入札 》 電子入札

開 札 日	令和7年(2025年)11月12日
主 管 課	上下水道局下水道工務課
種 別	電気工事
応札者数	1者(参加申請:1者)
予定価格	7,350,000円(税抜き)
落 札 額	7,350,000円(税抜き)
落 札 率	100.00%

質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 説 明
応札者が1者しかいなかった理由を聞きたい。	理由を特定することはできないが、本工事は故障した流量計設備の更新工事であり、機器の製作据付に専門的な知識や技術を要する工事である。工事の内容や、施工条件等を踏まえ、各事業者が総合的に受注の可否を判断した結果、1者での応札となったと推測される。
一番最初に設置した会社は別になるのか。	設置から約30年経過しており、今回の落札者とは別の会社が設置した。
どのような設備なのか。	流量計は、下水道の汚水の流量を測定する設備である。
予定価格は事前公表なのか。	事前公表である。
公告したあと、参加締め切りまでに入札書類をダウンロードや入手した会社は何社か把握しているか。	茨城県共同利用の電子入札システムを使用しており、ダウンロードやアクセスした事業者は把握できないようになっている。
変更契約はあったのか。	なかった。
予定価格の公表については、基準はあるのか。	つくば市入札制度運用方針による。

今回応札者が1者だったが、今後の更新の際、応札者がなかった場合どうなるのか。	応札者がなく入札不調になった場合は、参加資格要件を見直して再公告することになる。
「つくば市内に本店を置き継続して2年以上経過していること」という地域要件があるが、なぜ市内に限定するのか。	地域経済活性化の観点から、入札制度運用方針において、案件ごとに地域要件を定めることとしている。
《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。	

【事案2】 7国補緊道第11号－1上河原崎西環状線道路舗装工事【総合評価】

《 条件付き一般競争入札 》 電子入札

開 札 日	令和8年(2026年)2月4日
主 管 課	建設部都市計画道路整備推進課
種 別	舗装工事
応札者数	21者(参加申請:26者)
予定価格	35,530,000円(税抜き)
落 札 額	31,280,000円(税抜き)
落 札 率	88.03%

質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 説 明
総合評価方式であるのに、くじ引きによって決定している。経緯等を聞きたい。	制度上、くじ引きにより決定すると決まっており、公告にも「評価値の最も高い者が2人以上のときは、くじにより決定する」と記載して運用している。
総合評価方式で発注する案件に決まりはあるのか。	特に決まりはないが、当課発注工事は、道路がないところに幅員16メートルといった大きな道路を作るなど、比較的規格の大きい工事を発注するため、総合的に判断して総合評価方式で発注している。
総合評価方式による発注案件の決定において、契約検査課の役割は何か。	契約検査課で、総合評価方式で発注する年間目標件数を定め、複数の工事発注担当課に、案件の抽出をお願いしている。
手持ち工事数とはいくつか。	入札制度運用方針で、入札に参加できる者は、手持ち工事の数が2件までの者としている。
評価点とは何か。契約検査課が決定しているのか。	評価基準表に記載している定量・客観的な評価項目を、各事業者から提出された資料を基に契約検査課で審査し、決定している。

施工期間を37日間延長しているが、金額の変更はないのか。	第1回変更の際には変更数量が確定していなかったため、第2回変更の際に5,016,000円の増額の変更を行っている。
当初契約時に、契約の変更を想定できなかったのか。 今後、変更が生じないように何か工夫できるか。	設計時に測量等を実施し現況に合わせて設計をしているが、設計の際の測点間隔より工事の際の測点間隔が短く、より詳細に測定するため、変更が生じた。 今後は設計時に委託業者と密に連絡を取って、現地を確認して、実施していきたい。
全体的に技術評価点が低い。 くじ対象者の中には技術者の施工経験がない事業者がいるが、国交省であれば、施工経験がない時点で対象者から外れる。 評価値が同点であった場合、技術評価点により優劣をつけられるとよいと考える。 また基準価格を下回った失格者のほうが技術評価点が高く残念だ。失格基準に対する認知度が低いのであれば、周知を徹底されたい。	-
《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。	

【事案3】7市単文維五角堂茅屋根修繕工事

《 随意契約 》

見積期日	令和7年(2025年)11月13日
主管課	教育局文化財課
種別	建築一式工事
見積者数	1者
予定価格	2,490,000円(税抜き)
見積金額	2,490,000円(税抜き)
比率	100.00%

質問・意見	回答・説明
他市に茅葺職人がいると聞いたことがあるが、そこに頼めなかったのか。	他市の職人にも問い合わせたが他の仕事の兼ね合いで断られた。
過去の修繕工事も同じ事業者依頼しているのか。	令和5年に一部の応急修繕を行っており、発注先は今回と同じ事業者である。 その前の修繕は平成27年度で、軒先部分のみ実施。2者見積り合わせによる随意契約で、同じ事業者であったが、当時は市の業者登録をしていた。その前は平成15年度に屋根と壁の修理を実施。市内の別の事業者が受注した。
随意契約であれば、経営事項審査を受けていなくても受注できるのか。	随意契約の理由による。 原則は随意契約であっても、入札と同様入札参加資格有資格者名簿への登録が必要であり、建設工事の登録申請には経営事項審査の結果が必須である。 ただし今回の随意契約は、この事業者しかこの工事が施工できないという理由の随意契約のため、未登録業者でも受注が可能であった。
年度内に完了でなければ、施工可能な業者数が増えた可能性はあるのか？	前年度10月に参考見積を徴取しようと複数の業者に打診したが、この段階で職人と材料が揃えられる業者が1者しかいなかった。職人はだいたい前年度のうちに仕事を決めているため、増える可能性はないと考える。

計画的な修繕であれば、職人の確保等も計画的にできると考えるが、検討できることはあるのか。	一般には、茅葺きは数年おきの挿し茅修繕を続けて、20～30年おきに下地からの葺替えをしていくのが理想とされている。ただし、実際には職人や材料の確保の難しさから5～10年程度で緊急的な部分に限った挿し茅修繕を行い、全面葺替えも建物の状況を見て先送りになっている。
予定価格は受注者であるこの事業者の見積もりだけか。	そうである。
将来の大規模改修のときには、1者特命随契とならないよう検討されたい。	—
工事は問題なく完了したのか。	問題なく完了した。
茅の材料は高エネルギー加速器研究機構のものか。	以前、平沢官衙遺跡の修繕の際に、高エネルギー加速器研究機構の茅を一部使用したことはあるが、今回は受注者が保管していた茅を使用した。
《評価》 この事案の契約手続きは、適正に行われたものとする。	

【事案4】 7ー8市単中央公園リニューアル基本・実施設計業務委託

《 条件付き一般競争入札 》 電子入札

開 札 日	令和7年(2025年)12月3日
主 管 課	都市計画部学園地区市街地振興課
種 別	測量・コンサルタント(土木関係コンサルタント)
応札者数	10者(参加申請:11者)
予定価格	30,040,000円(税抜き)
落 札 額	27,550,000円(税抜き)
落 札 率	91.71%

質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 説 明
失格者が多いが理由は何か。	ランダム係数が高かったため、最低制限価格が上がり最低制限価格を下回る業者が多くなり失格者が多かったと考える。
ランダム係数とは何か。 ランダム係数をつけるつけないは案件により異なるのか。	最低制限価格を決定する際に、最低制限基本価格に掛ける係数のことである。 1.0000から1.0400まで、0.0005刻みで81通り。 開札当日にくじ引きにより決定している。 ランダム係数は最低制限価格制度適用時にすべて適用される。
応札額で落札意欲をみれると考えるが、落札意欲が高い(応札額が低い)者が失格し、落札意欲の低い(応札額が高い)者が落札してしまったということか。	ランダム係数が高い場合、失格者が多くなることは起こりえる。 事業者のモチベーションについてはわかりかねるが、現在、履行中の業務は、適正に進捗している。
国交省の場合、プロポーザル型や技術提案、有資格者の実績等で評価して落札者を決定することがほとんどであり、価格競争は珍しく感じた。	本業務は、令和7年8月に策定した「中央公園リニューアル基本計画」に基づいて基本・実施設計を行うものであり、総合評価方式やプロポーザル方式で求めるような高度な設計ではないと判断し、競争によるコスト削減が図れる一般競争入札で発注した。
落札候補者は、失格者を除き、最も価格が低い事業者ということか。	そうである。

《評価》

この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。

【事案5】 8広島市平和記念式典等中学生派遣事業委託

《 条件付き一般競争入札 》 電子入札

開 札 日	令和8年(2026年)3月5日
主 管 課	市民部市民協働課
種 別	物品・役務(その他の役務)
応札者数	1者(参加申請:1者)
予定価格	1,613,600円(税抜き)
落 札 額	1,613,600円(税抜き)
落 札 率	100.00%

質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 説 明
応札者が1者のみであった。考えられる理由は。	一般的な団体旅行とは異なり、被爆地での添乗員の派遣や「中学生の安全管理(万が一の体調不良やトラブルへの24時間対応)」が求められるため、事業を確実に遂行するには、現地に支店やネットワークを持つ旅行会社でなければ対応が難しかったことや、近年、旅行業界は人手不足や、乗務員・乗客の安全基準強化に伴うバス・航空運賃の高騰、現地宿泊費の値上がりに直面しているため、設定した予定価格では採算が合わない、あるいはその時期の定員・手配を担保できないという「市場の需給バランス」があったのではないかと推察する。
旅行会社の添乗員はいると思うが、市の職員も一緒に行くのか。	市の職員が1名と、今回市内の中学校3校から生徒が参加しており、それぞれの学校の教員が1名ずつ、計4名が引率をしている。
危険な場所には行かないのか。	危険な場所に行くことはない。広島市の平和式典の参列等、平和プログラムの参加であり、安全第一でやっている。
下見には行ったのか。	下見には行っていないが、現地の専門性を持った添乗員に、バスで一緒に移動し案内をしてもらうため、懸念はないと考える。

予定価格の積算方法は。	内部規定に則り、参加可能業者の中から3者見積もりを徴収し、平均から算出した。
添乗員の必要性はあるのか。 現地での責任の所在は、添乗員か市の職員どちらにあるのか。	添乗員は、旅程管理と緊急事態対応をすることになっており、万が一例えば渋滞で、会場につかないといった問題を回避できるため、必要と考えている。 万が一生徒に、けがや体調不良があった場合には、引率の教員と市の職員が対応する。また傷害保険にも加入している。
過去の応札者の状況は。	令和4年度以降は、毎年応札者1者のみで、すべて今回の落札者と同じであった。
毎年同じ動向になってしまっている。内訳書の積算も市民感覚から乖離しているように見える。 来年以降、応札者が増えるよう工夫してほしい。	-
《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。	

【事案6】8市単観維第1号筑波山浄化槽等汲取業務【指名競争】

《 指名競争入札 》 電子入札

開 札 日	令和8年(2026年)3月3日
主 管 課	経済部観光推進課
種 別	物品・役務(施設管理)
応札者数	3者(指名業者:8者)
予定価格	1,170,000円(税抜き)
落 札 額	750,000円(税抜き)
落 札 率	64.10%

質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 説 明
辞退者が非常に多いため、事情を知りたい。	辞退者5者に確認を行ったところ、人員不足や事務所からの距離などを加味し、採算が取れる見込みがないとの理由で辞退したとのこと。
汲み取ったものはどこかに運んで処理するのか。	サステナスクエアに搬入することとしている。
毎年の業務なのか。	そうである。
ガソリン代や人件費が上がっている中で予定価格の推移を教えてください。	毎年、複数者から参考見積もりを徴して積算しているため、決まった伸び率というよりかは実勢に則した予定価格としている。
工事のような最低金額はあるのか。あればいくらなのか。	こちらの業務では、最低制限価格制度の対象外である。
落札者からも見積りを徴しているのか。	徴している。

過去の応札者の状況は。	令和5年度:指名数:7 応札者数:4 令和6年度:指名数:7 応札者数:3 令和7年度:指名数:8 応札者数:3 辞退者もほぼ同様である。
過去の落札者は。	過去5年は今回の落札者が落札している。
複数年契約にはできないのか。	検討したい。
《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。	